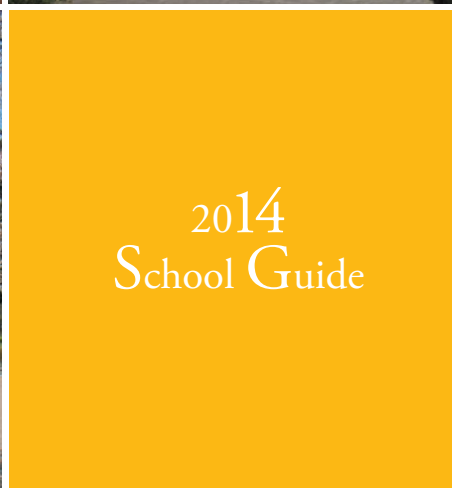




# 情報学群 知識情報・図書館学類



*College of Knowledge and Library Sciences  
School of Informatics*

# 知識共有をたすける 「知識人」

現代社会に生きるわれわれは、膨大かつさまざまな情報に取り囲まれ、めまぐるしい日々を過ごしています。大昔からこれまで、人類は必要な知識をいろいろな方法で後世に伝えてきました。図書館は一例ですが、現代ではネットワークやデジタル情報など、多様なものがあります。

ちまたの情報から有用な知識を引き出し、それを有効に活用することがますます重要になっています。そのため、高度な技術力はもちろんのこと、真偽を判断する能力をもち、著作権などの社会制度にも詳しい幅広い知識をもった人材が求められています。

知識情報・図書館学類では、知識を共有するためのスペシャリストの養成をめざしています。社会における知識共有を支える人、知識共有のために新しい技術を開発する人、先端的図書館をリードする人、知識を扱うための知識を普及させる人など、多様な人材を育てようとしています。

私たちが足がかりに、国際的に活躍する知識のスペシャリストとして未来を担ってみませんか。

知識情報・図書館学類長

長谷川秀彦



## 春日エリアの施設



# 目次

学ぶ	2~6
研究室訪問	7
教員紹介	8
入試	9
進路	10~11
学生生活Q&A	12~13
3年次編入	14~15
先輩から	16~17

筑波大学  
天王台  
エリア

筑波大学  
春日  
エリア

多目的  
グラウンド

北大通り

北通用口

テニス  
コート

春日講堂

講義棟  
7A、7B

研究棟  
7D

図書館情報学  
図書館

第四体育館

春日学生宿舎

春日弓道場

筑波大学  
春日キャンパス  
バス停

食堂

駐車場

東通用口

駐車場



# 学ぶ

## ■ 知識情報・図書館学類とは？

みなさんは何かについて知りたいと思ったとき、どうしていますか？まわりにある情報の多さに困惑していませんか？知識情報・図書館学類では、情報化社会に生きる私たちが知識や情報を有効に活用するためのさまざまな仕組みを扱います。そこには、社会に息づく図書館もあれば、広大なインターネットの世界、膨大な情報やデータの利用と分析、未来への知識や情報の伝達などが含まれています。

知識や情報を有効に活用するためには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。システムを創るためには、制度や文化、運営について考えなければなりません。知識情報・図書館学類では、これらの課題について「知識科学」、「知識情報システム」、「情報経営・図書館」の三つの主専攻が協力して教育し、知識や情報と社会をつなぐ人材を育成します。

## ■ カリキュラム

知識情報・図書館学類のカリキュラムは図1のようになっています。1年次には、総合科目、外国語や体育などの基礎科目に加えて、知識情報、情報システム、情報社会と法制度などについての概論や、プログラミング演習、統計などの専門基礎科目を通して、基礎的知識や

技術を学びます。2年次には、1年次に得た知識や技術をさらに深めていくため、主要なテーマごとに設定された講義と、技術を修得する知識情報演習などからなる専門基礎科目を履修します。3年次になると三つの主専攻のいずれかに属して、専門科目を履修します。多様な視点を育成するため、所属する主専攻の専門科目だけでなく、他の主専攻の専門科目も履修することが要求されます。4年次には、研究室に所属して卒業研究を行い、卒業論文を執筆します。卒業時には学士（図書館情報学）があたえられます。資格取得をめざす人のために、司書教諭、司書の科目も開講しています。

学修の達成度はGPA（Grade Point Average）によって容易に把握できるようになっています。GPAとは、成績を点数化したもので、修学指導や大学院への推薦などに使われています。

## ■ 専門教育

知識情報・図書館学類の専門教育の内容は、三つの主専攻に集約されています。各主専攻の特徴は、表1のようになっています。知識科学主専攻は「人間」、知識情報システム主専攻は「情報技術」、情報経営・図書館主専攻は「社会」をキーワードに、幅広い視野を養い、専門領域の内容に即して、人間、技術、社会・文化の結合と相互の役割を理解するための科目を展開しています。

図1 知識情報・図書館学類のカリキュラム体系

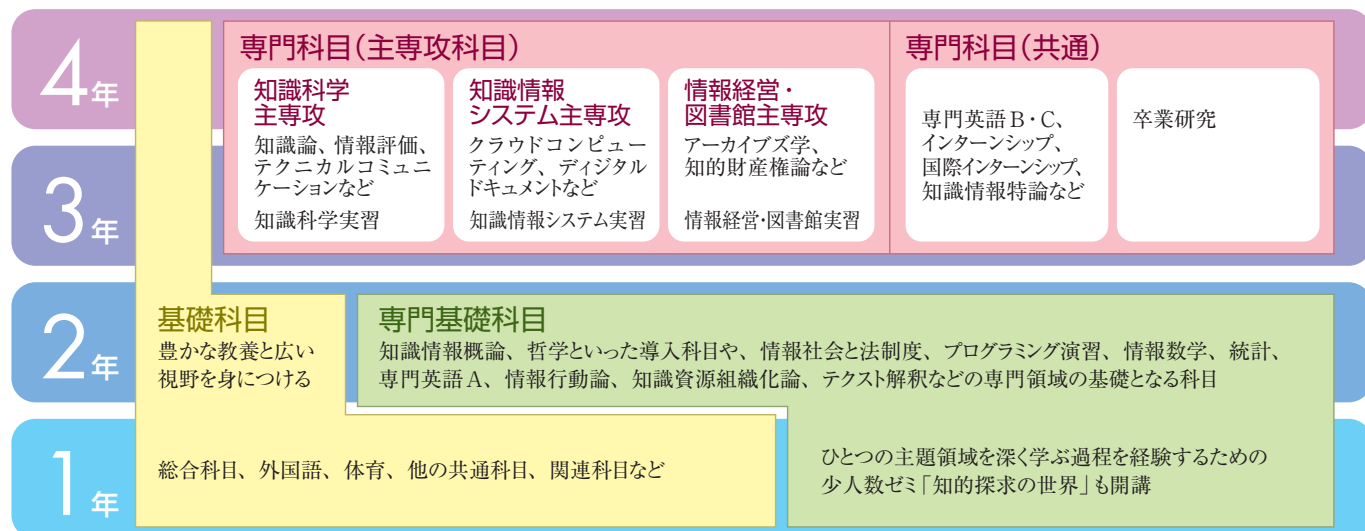


表1 各主専攻の特徴

	知識科学主専攻	知識情報システム主専攻	情報経営・図書館主専攻
ポイントは？	人 間	情報技術	社 会
何を学ぶか？	知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用	ネットワークにおける知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用	知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用

図2 知識情報・図書館学類の科目一覧

学群共通科目		専門科目	
<p>情報社会と法制度 知的財産概論</p>		<p>知識科学主専攻</p> <p>[専門情報] 特許情報論、医療情報論、テクニカルコミュニケーションサイエンスコミュニケーション</p> <p>[知識共有] 知識論、レファレンスサイエンス</p> <p>[知識行動] 学術メディア論、コミュニティ情報論、図書館建築論</p> <p>[知識発見] 知識構造化法、情報評価、生命情報学 ソフトコンピューティング、データマイニング</p>	
<p>基礎科目</p> <p>☆第1外国語 ☆総合科目I (フレッシュマン・セミナー、情報リテラシ実習) ☆総合科目II ☆体育 ☆第2外国語</p>	<p>専門基礎科目</p> <p>[知識情報演習] ☆知識情報演習I, II, III</p> <p>[統計とその応用] 量的調査法 多変量解析</p> <p>[語学] ☆専門英語A</p> <p>[知識と人間] 情報探索論 質的調査法 情報行動論 知識発見基礎論</p>	<p>知識情報システム主専攻</p> <p>[知識情報システムの実際] デジタルライブラリ、デジタルドキュメント、情報サービスシステム</p> <p>[知識情報システムの実装] マルチメディアシステム、情報検索システム、Webプログラミング</p> <p>[知識情報システムの設計] データベース技術、データ表現と処理 情報デザインとインタフェース、ヒューマンインタフェース</p> <p>[知識情報の組織化] 知識資源の記述、知識資源の分析、知識資源の用語管理</p> <p>[知識情報システムの原理] データ構造とアルゴリズム、テキスト処理、マークアップ言語 クラウドコンピューティング、ソフトウェア工学</p>	<p>☆主専攻実習・☆専門英語B・C</p>
<p>専門基礎科目</p> <p>[知識情報学への導入] ☆知識情報概論 ☆哲学 情報システム概説 図書館概論</p> <p>[情報リテラシ] ☆情報基礎 ☆情報基礎実習</p> <p>[プログラミング基礎] ☆プログラミング演習I, II</p> <p>[数学] ☆情報数学 基礎数学A, B</p> <p>[統計とその応用] ☆統計</p>	<p>[知識とシステム] 知識資源組織化論 データベース概説 コンピュータシステムとネットワーク 自然言語解析基礎</p> <p>[知識と社会] メディア社会学 生涯学習と図書館 公共経済学 経営・組織論</p> <p>[メディアの理解] テキスト解釈</p> <p>[知的探求の世界] 知的探求の世界I, II (少人数セミナー)</p>	<p>情報経営・図書館主専攻</p> <p>[知識情報環境の構築] 図書館論、学術情報基盤論、経営情報システム論</p> <p>[知識情報サービスの経営] 情報経済論、情報サービス経営論、パブリックガバナンス論</p> <p>[知識情報サービスの構成] 情報サービス構成論、コレクションとアクセス Comparative Study on Library and Information Services</p> <p>[知識情報の社会化] 教育文化政策、学校図書館論、メディア教育の実践と評価</p> <p>[知識情報の規範] 情報法、知的財産権論A, B、図書館情報法制度論</p> <p>[メディア社会と情報文化] メディア社会文化論</p> <p>[図書館と書物の文化] 図書館文化史論、中国図書学、日本図書学、アーカイブズ学</p>	<p>☆卒業研究</p>
		<p>学類共通</p> <p>[知識情報特論] 知識情報特論I, II, III, IV</p> <p>[司書教諭科目] 学校図書館メディアの構成、学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性、情報メディアの活用</p> <p>[インターンシップ] インターンシップ、国際インターンシップ</p>	

## ■ 特色ある科目

1年次には、大学生活への適応を支援する「フレッシュマン・セミナー」に引き続き、文章を読む、まとめる、議論する、発表するなどの基礎能力を養う「情報リテラシ実習」を必修科目として開講しています。また、文理融合型のカリキュラムによって総合的な能力を育てるとともに、2年次と3年次には必修の演習（「知識情報演習」、「知識科学実習」、「知識情報システム実習」、「情報経営・図書館実習」）を開講し、知識と技術の確実な定着をめざします。さらに、4年間を通して英語力を維持向上させるために英語による授業（専門科目）を開講したり、実社会での専門的な職業体験ができるよう、図書館や企業における「インターンシップ」を開講しています。



## ■ 国際インターンシップと海外研修助成

筑波大学は国際的な図書館情報学の研究拠点であり、世界的な研究交流が行われています。その関係を活かして、平成21年度より国際交流基金トロント日本文化センター、プリティッシュコロンビア大学（カナダ）、ハワイ大学（アメリカ）、上海図書館（中国）、釜山大学（韓国）等と連携した「国際インターンシップ」を開講しています。海外に10日間程度派遣し、相手国の図書館や情報センターの業務を学ばせることで、国際感覚やコミュニケーション能力を高め、国際的な視野をもった人材の育成をめざします。またハワイ大学や釜山大学の学生を受け入れ、海外の学生が日本の図書館について学ぶ機会も提供しています。

さらに、同窓会である茗溪会支部 図書館情報学橋会の支援を受け、図書館情報学に関する国際的な知見を深めるための短期海外研修事業として「図書館情報学海外研修助成」を実施しています。この事業では、自分が作成した海外での研修プランに対して、渡航費や滞在費などが助成されます。毎年、学類生と大学院生の数名が助成を受けています。

## ■ 早期卒業

知識情報・図書館学類では、成績優秀な学生は、卒業に必要な単位（卒業研究を含む）を取得すれば、本人の希望により3年次末で卒業できます。

表2 国際インターンシップ受講者数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
カナダ（プリティッシュ・コロンビア大学アジア図書館、トロント日本文化センター）	—	2	1	2
アメリカ（ハワイ大学、ミシガン大学）	3	2	1	—
中国（上海図書館）	3	—	—	5
韓国（釜山大学）	—	—	3	6

表3 図書館情報学海外研修助成を受けたテーマの例

公共図書館における資料選択のアウトソーシング（アメリカ、ハワイ州）
地域の特徴を活かした公共図書館のプログラム（ニュージーランド）
小規模図書館の活動と地域コミュニティとの関わり（アメリカ、ミシガン州）
日本のNGOによる開発途上国の図書館への支援（ラオス）
20世紀初頭のアメリカ公共図書館における日系人問題（アメリカ、カリフォルニア州）

## ■春日ラーニングコモンズ (KLC)

ラーニングコモンズとは、大学図書館内に形成された「学習するための共有スペース」です。KLC (Kasuga Learning Commons) は図書館情報学図書館の中にあり、図書館利用者はだれでも利用できます。

KLCはパソコンや無線LANのICT環境が整っています。また、カラープリンタ、プラズマディスプレイ、ホワイトボード、ミーティングテーブルなども設置されています。KLCには上級生チューターが質問を受け付ける専用カウンターもあります。平日の15:00～19:00には基本的に1名以上のチューターがいて、講義や履修に関する質問を受け付けています。

1年のときにラーニングコモンズで上級生からレポートの書き方や、パソコンをネットワークに接続する方法を教わった学生が、今度はチューターとしてみなさんの入学を心待ちにしています。



上級生チューターが質問を受け付ける専用カウンター



KLC

## ■司書資格と司書教諭資格

知識情報・図書館学類では、司書と司書教諭の資格が取得できます。司書や司書教諭は他の大学でも取得できますし、場合によっては通信教育や司書講習でも取得できます。しかし、同じ資格でも、知識情報・図書館学類は以下の点が違います。

- (1) 資格のための科目ではなく、知識情報学の専門科目として自然に位置づけられています。
- (2) 現在の図書館は情報センターとしても機能しています。司書資格の多くは文系学科で取得しますが、本学類では理工系、たとえば情報システムにも明るい学生を育てています。
- (3) 図書館での現場実習が「インターンシップ」「国際インターンシップ」として組み込まれています。

単なる資格として取得するか、実力の伴った資格にするか、それはみなさん次第です。

## ■テクニカルコミュニケーター専門課程

テクニカルコミュニケーターとは、仕事としてテクニカルコミュニケーション（機器や各種サービスに関して、利用者が求める情報を、正確かつわかりやすく表現するとともに、効果的に伝達し提供すること）に携わる人々のことをいいます。テクニカルコミュニケーターには、単なる情報処理能力のみではなく、ライティングや検索、企画力、法的知識など、幅広い能力が求められます。

2012年度より、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会（JTCA：テクニカルコミュニケーションの専門家団体）が、テクニカルコミュニケーター専門課程の認定を開始しました。これは、JTCAが定めた専門分野に関する科目を開講する大学学部を認定するもので、知識情報・図書館学類はこの認定を取得しました。そのため、知識情報・図書館学類の定められた科目を履修してJTCAに申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定が受けられます。

## ■卒業研究はどんなことをやるの？

4年次の卒業研究では、知識や情報に関する専門性に加えて、社会に出て役立つ基礎的なスキルを修得します。はじめに関心のある研究テーマを見つけ、その研究テーマに関する文献を読み、新しいシステムをつくったり、調査を行ったりすることを通して、さまざまな発見をします。その成果を、卒業研究論文としてまとめます。このような過程や研究成果をまとめるなかで、知識や情報に関する専門性が深められます。

卒業研究の枠組、経過、最終的な成果などを報告する発表会は3回あり（着手発表会、中間発表会、最終

発表会各1回）、限られた時間のなかで効果的なプレゼンテーションを工夫し、質疑応答も経験します。このような発表会を通して、社会で役立つプレゼンテーション能力、論理的思考力、文章力などが鍛えられます。卒業論文執筆の過程では、論理的に説明する力や文章力が培われます。

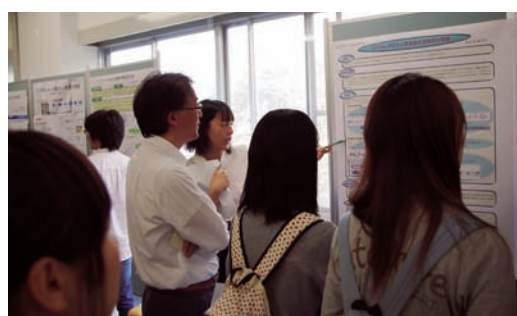
これまでの卒業研究のタイトルと抄録は学類ウェブページから見られます。卒業研究はpdfで保管し、図書館情報学図書館で全文を閲覧することができます。

表4 卒業研究題目の例（平成22～24年度）

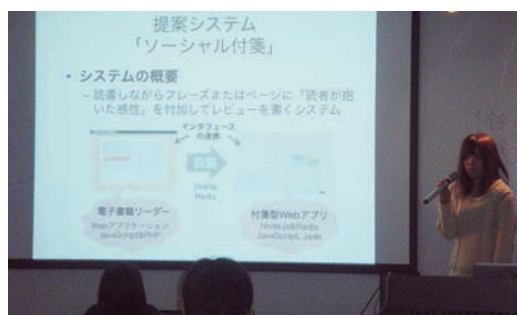
知識科学主専攻
科学博物館によるサイエンスコミュニケーション活動についての研究参加型イベントを対象として
学習スタイルによる最適な外国語e-Learning教材の選定に関する検討
利用者が図書館に抱くイメージの形成過程
アイスブレイカーの類型化と対人関係における効果
VOCALOID 人気楽曲におけるメロディーの特徴
知識情報システム主専攻
XPath式に対するK最適修正候補発見アルゴリズム
子どもの質問に着目したソーシャル絵本推薦システム
ソーシャル付箋の提案 —感性を用いた読者間コミュニケーション支援システムの開発—
フォロー別フィルタによるツイートフィルタリングに関する研究
画像処理を用いた視覚環境の拡張
情報経営・図書館主専攻
日本の公共図書館における携帯サイトを用いた情報発信
家庭環境が幼児の読書能力に及ぼす影響
明治期における図書館と博物館の組織的な併合と分離
クラウドコンピューティングと著作権法上の課題 —著作物の利用主体性を中心に—
津軽の俳諧研究 —芭蕉二百回忌を中心に—



ゼミの風景



知識科学主専攻の発表会



知識情報システム主専攻の発表会



情報経営・図書館主専攻の発表会

# 研究室訪問



## 横山 幹子 講師 (知識科学主専攻)

私たちはさまざまな知識を共有しながら、日々の生活を営んでいます。たとえば、「学校の裏のアイスクリーム屋のアイスクリームがおいしいこと」、「隣の家の猫が三毛猫であること」、「雪道が滑るということ」…。そしてそのような知識を共有することで、さまざまな行動を起こしたりします。たとえば、「学校の裏のアイスクリーム屋のアイスクリームがおいしい」という知識を共有する友人同士が、その店にアイスクリームを食べに行ったりします。「雪道が滑る」という知識を共有しているために、注意深く歩いたりします。その

意味では、知識を共有することは、人間が社会の中でよりよく生活していくためには、不可欠なことだと考えられます。

では、共有されると言われる「知識」とはどのようなものなのでしょうか。そして、知識をどのようなものと考えたら、知識を共有することができるのでしょうか。知識を巡るそのような問題を解決しようとしてきた学問の一つが、哲学であり、特に哲学の中でも、認識論(知識論)と呼ばれる分野です。

横山研究室では、哲学的視点から、知識を巡るさまざまな問題を考えることを目指しています。学生は、「知っているとはどういうことか」から始まり、知識の本質、知識の限界、知識の確実性、知識の共有等々さまざまな問題に取り組んでいます。これまでの卒業研究には、知識は個人の心の中にあるのか、それとも社会の中にあるのかについて考察したもの、言語という記号で表現されるものと絵画という記号で表現されるものの違いについて考察したもの、コンピュータの理解と人間の理解の違いについて考察したもの等、さまざまなものがあります。

文献研究が中心になりますが、ゼミでの発表や討論を通じて、論理的思考力、発想力、コミュニケーション力を鍛え、批判的に考えることのできる人になってもらえたら嬉しいと思っています。



## 手塚 太郎 准教授 (知識情報システム主専攻)

人類が現在のような繁栄を手にすることができたのは、経験の中から知識を獲得し、体系化する能力によってではないでしょうか。この能力の本質を明らかにすることで、コンピュータにも人間と同じようにデータから知識を獲得する力を与え、さらなる進歩を実現しようとする研究が活発に行われています。手塚研究室では確率論や統計学に基づきデータから有益なパターンを発見し、構造化された知識を得ていくプログラムの開発を行っています。

インターネットやセンサーネットワークをはじめとして、膨大な量の電子的なデータが蓄積されている現在、これらの手法には幅広い応用があります。文書や画像、時系列データなどに対し、グラフィカルモデルやニューラルネットワークなど、データの特性にあわせたモデルを構築し、学習手法の実現に取り組んでいます。

研究室では毎週、輪講やゼミを行っています。輪講では基礎的な技術に関するテキストを用いて学生が順に発表し、理解を深めています。ゼミでは各自の研究に関してディスカッションを行い、問題の解決に向けての検討を行っています。夏休みの旅行やスポーツイベント、鍋などを通して研究室での親睦を深めるようにもしています。データを解析する力、問題について深く考え、解決を模索する力は実社会に出て必ず役に立つと思います。意欲を持った学生がメンバーとして加わってくれることを心待ちにしています。

<<http://xi.kc.tsukuba.ac.jp>>



## 吉田 右子 教授 (情報経営・図書館主専攻)

公共図書館は地域住民の生涯学習を支えるコミュニティ・メディアです。情報や学習にかかわる機関は他にもたくさんありますが、あらゆるメディアに含まれる情報の収集・提供・保存を行い、体系的に組織化された情報が司書という情報専門職によって提供される点で、公共図書館はとてもユニークな文化施設です。

しかしこうした公共図書館の持つパワーが十分に利用者に伝わっていないのではないかと

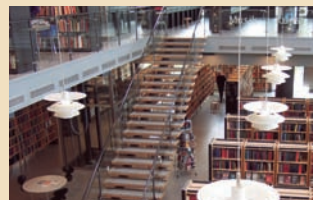
という問題意識から、吉田研究室では図書館が地域にとけ込み住民が積極的に図書館サービスを利用している北アメリカやスカンディナヴィア地域の公共図書館を対象に研究を行ってきました。最近では社会的・経済的に困難な状況にある人びとに、さまざまなメディアを通じて文化を手渡すための活動を続けている途上国の図書館を研究対象にする学生も増えてきました。

これまでの研究室の卒業研究のテーマは「アメリカの公共図書館における〈遮断された人々〉に対するサービスについて」、「フィンランドにおける公共図書館の役割—ヘルシンキ市立図書館の取り組みを中心として」、「スウェーデンにおける移民・難民への図書館サービスについて」、「日本の NGO による開発途上国への図書館支援について—公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の取り組みに着目して」、「ネパールにおける NGO による図書館設置活動の現状と課題」などです。

海外での調査を自力で終えて帰ってきた研究室の学生は、いつも驚くほどたくましくなっています。ぜひ一緒に公共図書館を再発見しましょう!



スウェーデン ホーグ・ダーレン図書館



デンマーク・ルンクビュー図書館

# 教員紹介

## 知識科学主専攻

### 岩澤 まり子

- 情報組織化
- 情報共有
- 医療情報

### 三波 千穂美

- サイエンスコミュニケーション
- テクニカルコミュニケーション

### 上保 秀夫

- インタラクティブ情報検索
- コンテキスト
- レファレンスサイエンス

### 中山 伸一

- 情報化学
- 感情予測
- 情報知識化

### 真栄城 哲也

- 生命現象の解明
- さまざまなモノの関係性
- 専門知識の利用

### 三森 弘

- 建築学
- 学習空間デザイン

### 芳鐘 冬樹

- 研究者の生産性
- 研究協力ネットワーク
- 計量書誌学

### 大澤 文人

- 教育におけるマルチメディアの活用
- 教育におけるコンピュータの活用

### 鎮目 浩輔

- 機械学習
- 量子情報処理

### 歳森 敦

- 選択行動モデル
- 選択意識の解明
- 地域施設計画

### 長谷川 秀彦

- ハイパフォーマンスコンピューティング
- 数値線形代数

### 松林 麻実子

- 情報行動
- メディア分析
- コミュニケーション

### 横山 幹子

- 知識
- 言語
- 意味

## 知識情報システム主専攻

### 宇陀 則彦

- 電子図書館
- 情報資源共有
- 知識現象の解明

### 佐藤 哲司

- 情報アクセス
- 知識画像とコミュニティ分析
- コンテンツ工学

### 関 洋平

- 情報アクセス
- 自然言語処理
- コミュニケーション支援

### 辻 慶太

- シソーラスの自動構築
- レファレンスサービス
- 図書館情報学教育

### 時井 真紀

- 計算物理
- 計算機シミュレーション

### 松本 紳

- 計算物理
- サイエンティフィックビジュアライゼーション

### 緑川 信之

- 知識の組織化
- 知識資源の組織化
- 分類

### 若林 啓

- 機械学習
- データマイニング

### 阪口 哲男

- 迷惑メール対策技術
- 次世代のインターネット利用技術
- 情報の蓄積と共有を推進するシステム

### 鈴木 伸崇

- XML
- 構造化文書
- アルゴリズム

### 高久 雅生

- 情報科学
- 電子図書館
- 情報検索

### 手塚 太郎

- 情報検索
- 統計的言語モデル

### 松村 敦

- Web 情報システム
- 情報検索インターフェース
- 絵本の推薦

### 水嶋 英治

- 博物館学
- 博物館情報学
- デジタルアーカイブ

### 森継 修一

- 数式処理システム
- アルゴリズム
- 数学的知識

## 情報経営・図書館主専攻

### 池内 淳

- 公共図書館政策
- 図書館評価
- ウェブの計量分析

### 後藤 嘉宏

- メディア社会学
- 社会思想史
- マス・コミュニケーション論

### 呑海 沙織

- 図書館文化史
- メディア史
- 知識情報基盤

### 松本 浩一

- 人文学の資料
- 資料のデータベース化
- 中国文献学

### LO, Patrick

- 国際比較図書館学
- 音楽図書館学
- 図書館アウトリーチおよびPR

### 石井 夏生利

- プライバシー
- 個人情報保護
- 情報法

### 白井 哲哉

- アーカイブズ学
- 図書館地域資料
- 日本地方史

### 原 淳之

- ヨーロッパの図書館
- 図書館文化史
- 図書館の国際比較

### 溝上 智恵子

- 大学教育
- 教育政策
- 図書館情報学教育

### 綿坂 豊昭

- 図書
- 文化
- 歴史

### 逸村 裕

- 学術情報流通
- 情報利用行動
- 大学図書館

### 鈴木 佳苗

- 児童青少年の読書
- メディア利用の影響
- メディア教育

### 平久江 祐司

- 学校図書館経営
- 学校図書館利用指導
- 情報リテラシー教育

### 村井 麻衣子

- 知的財産法
- 著作権法

### 大庭 一郎

- 情報サービス（レファレンスサービス）
- 公共図書館
- 図書館職員

### 田村 肇

- 経済分析
- 統計学
- コンピュータによるシミュレーション

### 松縄 正登

- 知的財産法
- 特許法
- 著作権法

### 吉田 右子

- 公共図書館論

# 入試

## 学類説明会は2013年7月31日(水)です

実際の大学を知るにはこれが一番。大学のことを知れば勉強意欲もわいてくる。

大学説明会は8月26日(月)です

### 一般入試

大学入試センター試験と個別学力検査に基づく選抜(分離・分割方式)  
募集人員 前期日程60名 後期日程15名

### 前期日程はオールラウンドな人向け

選択科目(地歴・公民・理科)と数学、外国語、センター試験。数学は数Ⅱと数Ⅲでも受験できる。

### 後期日程は広い視野と独創性を重視

センター試験と小論文。小論文で自分の考え方をしっかりまとめるのがポイント。

### 推薦入試

高等学校長の推薦に基づく選抜  
募集人員 20名

### 論理的思考力とコミュニケーション能力

小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要。  
面接では自分の考えをはっきり伝えること、説得力がポイント。

### AC入試

自己推薦に基づく選抜  
募集人員 5名

### 自分自身の課題でトライ

自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提示。  
未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイント。

### 私費外国人留学生入試

日本留学試験と小論文、TOEFL、面接による選抜  
募集人員 若干名

### 知識と情報について学ぶ意欲と日本語能力

小論文は日本語で論理的に表現できるかがポイント。  
面接には知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切。

日付は2013年4月から2014年3月の間

試 験	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入 試 科 目	配 点
AC入試	5名	9月	10月	10月	第一次…書類選考、第二次…面接(募集要項公表は6月の予定)	—
推薦入試	20名	11月	11月	12月	小論文と面接	—
大学入試 センター試験	—	10月頃	1月	—	国語 国語	200
					数学 数Ⅰ・数Ⅱ 数Ⅲ・数Ⅳ、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳから1	200
					外国語 英(リスニングテスト含む)、独、仏、中、韓から1	200
					① 地歴・公民 世Ⅰ、世Ⅱ、日Ⅰ、日Ⅱ、地理Ⅰ、地理Ⅱから1 現社、倫、政経、倫・政経から1	100
					理科 理Ⅰ、理Ⅱ、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1 [6教科7科目]	100
					② 地歴・公民 世Ⅰ、世Ⅱ、日Ⅰ、日Ⅱ、地理Ⅰ、地理Ⅱ 現社、倫、政経、倫・政経から1	100
					理科 理Ⅰ、理Ⅱ、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2 [5教科7科目]	200
個別学力検査 前期日程	60名	1月頃	2月	3月	数学 数Ⅱ・数Ⅲ、数Ⅳ・数Ⅴ、数Ⅵ・数Ⅶ、数Ⅷ・数Ⅸから1	300
					外国語 英Ⅱ・リーディング・ライティング、独、仏から1(事前選択)	300
					地歴 世Ⅰ、世Ⅱ、地理Ⅰから1 公民 倫 理科 物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱ、生Ⅰ・生Ⅱ、 地学Ⅰ・地学Ⅱから1	200
個別学力検査 後期日程	15名	1月頃	3月	3月	小論文	200
私費外国人 留学生入試	若干名	1月頃	2月	3月	日本留学試験(文科系または理科系)、TOEFL、小論文、 面接	—
3年次編入学	10名	6月	7月	7月	面接・口述試験(募集要項公表は4月の予定)	—

詳細は必ず「入学選抜要項」及び「学生募集要項」(2013年9月公表予定)を参照してください。大学入試センター試験においては、①または②を選択してください。

問い合わせ先 筑波大学 教育推進部 入試課 電話 029-853-6007

# 進路

## ■「自分にマッチ」したフィールドを！

知識情報・図書館学類の魅力は、文理融合型カリキュラムによって、知識と情報、人間、社会に関する基礎的な知識と技術を広く学びながら、自分が深めたいと思う専門領域を見つけられるところにあります。大学4年間を通じて、知識情報にかかわる広大な世界に触れることは、みなさんの可能性を広げることになるでしょう。知識情報・図書館学類では、隠された自分の可能性を発見し、「自分にマッチ」したフィールドにたどり着くことができます。

## ■進学

本学はもとより、他大学や海外の大学院に20%ほどの卒業生が進学しています。知識情報・図書館学類の教員が所属している大学院として、2年間の博士前期課程（修士課程）と3年間の博士後期課程（博士課程）からなる図書館情報メディア研究科があります。図書館情報メディア研究科には推薦入学の制度があるので、学類での成績が優秀なら早い時期から自分の進路を定めることもできます。いろいろな専門分野を学んできた多数の大学院生とともに切磋琢磨し、より高度な知識と技術の修得、先端的な研究を行います。こうして身につけた能力を活かして、博士前期課程修了後にはより高度な専門性を必要とする職業に就けます。さらに博士後期課程へ進み、大学教員や研究者をめざす道もあります。また、図書館情報メディア研究科では夜間や土曜日に学習・研究ができるように、東京キャンパス文京校舎に東京サテライトを設けていますので、社会人として仕事をしながら大学院で研究を続けることもできます。

## ■資格取得

将来へのきっかけとして、大学在学中に資格取得を考えてみるのもいいでしょう。資格取得はスキルアップにもなりますし、自分への自信にもつながります。将来、どのような職業に就いても、「知識」と「経験」はかならず力になります。

知識情報・図書館学類では司書資格、司書教諭資格、教員免許状が取得できます。司書教諭資格は、司書教諭科目を履修し教員免許状を取得することで取得できます。教員免許状は、中学校教諭一種免許状（社会・数学）と高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）が取得できます。

また、自分の可能性を広げるため、TOEIC（Test of English for International Communication）や TOEFL（Test of English as a Foreign Language）、初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験、経営学検定試験（初級）、図書館情報学検定試験などの受験を勧めています。

さらに、学類の定められた科目を履習して、JTCAに申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定を受けることができます。

## ■就職

知識情報・図書館学類の三つの主専攻において専門的な知識と技術を修得する過程で、きっと「自分にマッチ」したフィールドを見つけることができるでしょう。また、基礎教育を重視したカリキュラムは、将来、多様な分野で活躍できる下地をつくります。

知識情報・図書館学類には40以上の研究室があります。これらの研究室の卒業生は、右図のようなさまざまな分野で活躍しています。それらは、出版社を中心とした「情報を生み出す」職業、IT企業を中心とした「システムを開発する、提案する」職業、法人職員や公務員など「サービスを人に提供する」職業、図書館職員など「情報を人に提供する」職業などに大別できます。

今後ますます、知識の本質を理解したエンジニアや企画経営能力を有する開発者など、多様な視点をもった人材が必要とされ、実際にそうした人材を輩出しています。

## ■就職支援

知識情報・図書館学類では、学生の希望進路ごとにきめ細やかな就職支援を行っています。企業系志望の学生のためには、進路説明会や学生間で情報を共有するための「進路情報カフェ」などを実施しています。「進路情報カフェ」は、和やかな雰囲気のなかで学生が少人数で気軽に就職についての情報交換ができる場になっています。

公務員・図書館志望の学生のためには、公務員採用試験に向けて独自の教養試験対策を行っています。2年次の10月から4年次の6月にかけて合計40回を超える「公務員試験準備講座（教養模擬試験）」を隔週で実施しています。ま

た、公務員採用試験の受験のステップに応じて、志望理由書の執筆、機関訪問の準備、2次試験の面接に向けたアドバイスなども行っています。

さらに、学生の個別相談に対応するため、進路指導担当教員のほか、独自にキャリアアドバイザー（週1日）を配置し、気軽に相談できるようにしています。就職説明会やOB・OG会社説明会なども開催しています。就職説明会では、キャリアアドバイザーによる就職活動のポイントについてのアドバイスや、進路（公務員、企業、大学院進学）別に先輩からの話を聞くことができます。また、全学レベルでのキャリア支援活動も受けることができます。



就職説明会



教養模擬試験

## 卒業生の主な進路



（注）企業名等は平成22～24年度の実績です。



# 学生生活Q&A

## Q 学類のホームページは？

**A** 学類のホームページは、<http://klis.tsukuba.ac.jp/> です。学生生活に関するさまざまな情報を提供していますので、アクセスしてみてください。

## Q 学生宿舎はありますか？

**A** 春日エリア内に春日学生宿舎があり、春日エリアの新入生は優先的に入居できます。全室個室、ベッド・机・椅子つきで、LANの設備もあります。寄宿料8,000円と共益費6,640円で月額14,640円（2013年4月1日現在）です。これにプラスして個室電気料が2,000円程度（個人使用分）、コインランドリー代1回100円、シャワー代10分100円がかかります。また、徒歩15分～20分のところに、追越学生宿舎と平砂学生宿舎があります。



## Q アパートは紹介してもらえますか？

**A** キャンパスの近くには学生向けのアパートがたくさんあります。台所と6畳の1Kで3～5万円程度で、徒歩や自転車で通える範囲から探すことができます。情報の提供は学生生活課で行っていますが、ほかに、地元ミニコミ誌が毎年秋に最新のアパート情報を掲載した小冊子を出しています。

## Q 入学金と授業料は？

**A** 2013年度の場合、入学金は282,000円、授業料は年間535,800円です。なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

## Q 授業料免除の制度はありますか？

**A** 全額免除と半額免除があります。2012年度知識情報・図書館学類の場合、免除者は約30名でした。

## Q どんな奨学金がありますか？

**A** 日本学生支援機構による奨学金制度には、無利息の第一種奨学金と利息つきの第二種奨学金があります。

2013年度の場合（月額）

● **第一種奨学金**（希望額を選択）

【自宅通学者】 30,000円、45,000円

【自宅外通学者】 30,000円、51,000円

● **第二種奨学金**（希望額を選択）

30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円

その他、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、地方自治体や財団法人による各種奨学金制度もあります。

## Q 奨学金はもらいやすい？

**A** 2012年度知識情報・図書館学類の場合、日本学生支援機構の第一種奨学生は65名、第二種奨学生は77名でした。

## Q 授業時間はどのくらいですか？

**A** 1時限は75分で、休憩時間が15分です。昼休みは50分あります。1時限目は8:40に始まります。

## Q 授業のある日は？

**A** 春学期（4月1日～9月30日）、秋学期（10月1日～3月31日）、それぞれに3つのモジュール（A、B、C）があり、この期間の月曜日から金曜日に授業があります。週2時限で10週間の授業に試験またはレポートの科目が基本ですが、5週授業（週4時限）、15週授業（週1時限）、30週授業（週1時限）の科目もあります。土曜や休暇中の集中授業の科目もあります。夏休みは8月中旬から9月末まで、冬休みは12月下旬から1月上旬、春休みは2月中旬から3月末までです。

## Q 休日に図書館や実習室が使えますか？

**A** 図書館情報学図書館が9:00から22:00（土日10:00から18:00）、春日エリアの実習室が8:00から22:00で、休業期間中は短縮されます。春日エリア外の図書館や実習室も利用できます。ただし、授業のため利用できない場合があります。なお、コンピュータシステムは基本的に年中無休でいつでも利用できます。

## Q パソコンは必要ですか？

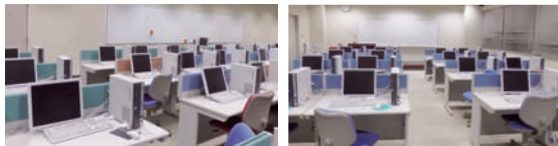
**A** 春日エリアの実習室には、180台のパソコンが設置されており、自由に使うことができます。ただ、自宅や宿舎で好きな時間に利用するために、多くの学類生は自分自身のパソコンをもっているようです。春日エリアのすべての教室では無線LANが使える、春日学生宿舎のすべての個室には情報コンセントがあります。

### Q 個人のWWWページをつくれますか？

A 全員が電子メールアドレスをもち、個人のWWWページを公開できます。

### Q どんなコンピュータが使えますか？

A 学生全員が使うコンピュータシステムではWindowsとLinuxの両方が使えます。



### Q 健康相談はできますか？

A 保健管理センターで、けがや病気などに対応できる体制になっています。学生生活で生じた不安や悩みなどは、専門のカウンセラーの先生に相談できます。また、スチューデントプラザと春日エリアには総合相談窓口があり、学生生活で困ったことがあったら気軽に相談できるようになっています。

### Q スポーツや文化活動の施設は？

A 筑波大学にはさまざまな施設がありますが、春日エリアには多目的グラウンド、体育館、テニスコート（4面）、弓道場などのスポーツ施設があります。また文化系サークルのスペースとして共用室や和室があります。

### Q どのくらいのサークルが活動していますか？

A 筑波大学には100をこえる課外活動団体があります。

### Q 学食や売店はありますか？

A 春日エリア内には学食と売店（書籍・文房具）があります。

### Q 大学構内の移動は？

A 路線バスを使って大学中央や他地区に移動できます（平日8:00～21:00は10分間隔）。学生は年間4,200円の学割定期券で、つくばセンターから大学構内までの路線バスをいつでも自由に乗り降りできます。また、自転車で移動する学生も大勢います。

### Q 新入生の時間割は？

A たとえば1年次の入学当初はこんな時間割になります。

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
月	総合科目Ⅱ	第2外国語	第1外国語			
火	情報基礎	知識情報概論				
水	情報数学	フロッピー・マネー				
木	情報基礎実習	第2外国語	第1外国語			
金			体育		第1外国語	

### Q 交通の便は良いですか？

A 春日エリアから徒歩10分のかづさ駅からは、つくばエクスプレスで秋葉原まで45分、高速バスで東京まで約90分から110分です。また、羽田空港、成田空港へのバスもあり、どちらも100分ほどです。

### Q 近くで買い物ができますか？

A 春日エリアから徒歩10分のかづさセンター（つくば駅）と3キロほどの研究学園には、それぞれ大きなショッピングセンターがあります。さらにコンビニエンスストア、書店、スーパー、百貨店、家電量販店なども近くにあり、買い物にはとても便利です。



### Q 近くに文化施設はありますか？

A 春日エリアから徒歩数分のところにプラネタリウムや県立美術館、市立図書館などがあります。



### Q 新入生の1日は？

A 新入生はこんな1日を過ごしています。

- 7:00 目覚まし時計が鳴る。まだ眠いが二度寝が怖いので起床
- 7:20 朝食は簡素に。朝から料理するのは無理
- 8:30 宿舎から教室までは3分ほどだが、余裕をもつにはこのくらいに出ないと……
- 8:40 1、2時限、情報基礎実習
- 10:40 今日の実習項目終了。早く終わったら帰っても良いのがこの科目の良いところだ
- 11:30 昼食。今日は友人と学食で食べよう
- 12:15 3時限目は中国語。外国語と体育、そして総合科目Ⅲは別のキャンパスで受けるので、自転車は手放せない
- 13:45 4時限目、英語
- 15:15 宿舎に帰り着く。今日の5、6時限目は空き時間。英語の宿題をしておこう、英作文は何について書こうかなあ
- 17:15 サークルに行く前に風呂に入っておこう
- 18:15 さて、サークルだ。もうすぐ公演だからがんばらないと
- 20:30 今日はいつもより早く終了。帰る前に買い物だ
- 21:15 買い物を終えて帰宅
- 22:40 宿舎の仲間と話をしながら夕食。
- 23:30 寝る前にちょっとだけパソコンを立ち上げてブログを更新。宿舎にLAN回線が通っているので便利
- 0:00 就寝。明日も1日ががんばろう……

# 3年次編入

## 1. 編入について

知識情報・図書館学類では、次の2種類の編入生を受け入れたいと考えています。

- ①類似した領域から来て、そこで習得した知識・技術を深める
- ②異なる領域から来て、そこで習得した知識・技術をもとに新しい道をめざす

①のタイプは、たとえば短期大学で司書資格科目を履修したり、高等専門学校で情報工学を専攻したりするうちに、より専門的に学びたいと考えるようになった人たちです。②のタイプは、たとえば法律学や化学を学んで、その知識を知識情報学（図書館情報学）のなかで活かして法律図書館や化学情報といった今までとは異なる領域について学びたいと考えるようになった人たち、あるいは情報工学を技術的側面から学んできたのちに社会的側面からも学びたいと考えるようになった人たちなどです。

## 2. 入学試験

入学試験では、学習計画書を提出していただき、その内容について30分程度の面接・口述試験を行います。

学習計画書には、自分は①のタイプなのか、あるいは②のタイプなのかをよく考えて、2年間の大学生活でどのようなことを学びたいのかをまとめてください。学習計画書を補足するための資料を添付してもかまいません。

面接・口述試験では、10分程度でこれまでの学習内容、志望の動機、これからの学習計画などについて説明していただきます。試験時に説明用資料を配布することもできます。

編入学試験では、その時点での学習計画をきちんと説明できることが重要で、入学後にその学習計画を変更してもかまいません。

## 3. 入学

合格発表後、8月末の土曜午後に東京キャンパスで合格者向けのガイダンスを実施します。カリキュラムや単位認定についての概要を説明したうえで、クラス担任予定者や教育課程の教員が、個々の合格者ごとに単位認定の見通しの試算や主専攻選択について個別面談を行います。例年、ガイダンスでの単位認定見通しを受けて、在籍校での履修計画を見直す人が多く、結果的に編入学時の認定や入学後の履修がスムーズに進むようです。

卒業に必要な単位数の約半分を、編入学時までの学修内容に応じて単位認定します。これまでの実績では55単位～69単位、平均すると62.8単位が認定されています。卒業に必要な単位数は125.5単位ですから、編入学後63単位前後の履修が必要になります。1年次入学の標準的な履修プランでは1・2年次で約80単位、3・4年次では約50単位となっています。

知識情報・図書館学類生としてかならず学んでほしい科目は単位認定の対象外なので、1・2年次生に混ざって受講する必要があります。この場合、同じ時間帯に開講される3・4年次向けの専門科目は4年次に受講することになります。

編入学者は3年次生として、三つある主専攻のひとつに所属し、1年次からの学生に混ざって主専攻実習や専門科目を学びます。卒業研究の研究室配属は3年次秋に行います。

背景が異なるさまざまな編入生を受け入れるため、クラス担任を中心に、学習計画の指導に力を入れることになっています。計画的に履修すれば司書資格の取得は可能ですが、教員免許状を2年間で取得するのは不可能です。

## 4. 説明会

2013年4月27日（土）13:30から春日エリアの情報メディアユニオンにおいて編入説明会を行います。

# 先輩の声

「編入してよかった。」これが入学して一年経った今思うことです。学びたいことを思いっきり学べる環境、刺激し合える仲間、そしてアドバイスをくれる先輩方と先生方。こんなにたくさんのサポートに恵まれた知識情報・図書館学類での生活を紹介したいと思います。

知識情報・図書館学類には、精神的な面でも単位的な面でも心強い味方がたくさんいます。同期の編入生は、高専でプログラミングを学んできた人もいれば、図書館の現場で働いていた人、留学生や英語学科卒の人など、それぞれ得意分野を持っています。私は幼児教育科からの編入のため、特にプログラミングに苦戦していますが、困っていると誰かが助けてくれます。

私は埼玉から1時間半かけて大学に通っています。サークル活動等で帰りが遅くなることがありますが、そんなときは友人が泊めてくれるため、自宅通学でもサークル活動を思いっきり楽しんでます。サークルに入るのはおすすめです。私は友人にマネージャーを頼まれたことがきっかけで、フットサルチームで週2〜3回活動しながら県リーグ等に出場しています。他学類の友だちが爆発的に増えますし、面白い授業を教えてもらうことができます。何より、いろいろな人たちとの出会いが財産になります。

編入を決意したら、今ある環境のなかで精一杯学びましょう。その経験と知識が、編入後に生きてくるはずです。それは社会に出たときにもあなたの強みになるはずです。

編入して学ぶことは、知識情報・図書館学の枠を大きく超えてあなたの人間性をより豊かなものにしましょう。でもそれは、あなたが編入を選択しなければ始まりません。このメッセージにあなたが出会ったのも何かの縁です。知識情報・図書館学類で、一緒に脳と心にたくさん汗をかいて、青春を謳歌しましょう！



根岸 舞  
NEGISHI Mai  
(短大出身)

情報経営・図書館主専攻



カン スサラット ジャハン  
Khan Nushrat Jahan  
(専門学校出身)

知識情報システム主専攻

2012年に知識情報・図書館学類に編入した学生の中で、私は唯一の留学生でした。この学類にはさまざまな分野から学生たちが編入してくるため、いろいろな人と出会えるのが魅力的でした。でも、東京の生活に慣れた私が友人たちと離れてつづいて新しく生活を始めるのはとても不安でした。電子工学から情報系の学類に編入し、勉強についていけるのか、周りのみんなが仲良くしてくれるのかと、ドキドキして入学式の日を迎えました。

この大学に入学してそろそろ一年経ちますが、知識情報・図書館学類には予想以上に早く馴染むことができました。その理由は、この学類の先生方と仲間が本当に親切で、どんなときも丁寧に教えてくれるからです。編入生はいろいろな分野から入学するため、自分の得意なところ、苦手なところがそれぞれにあります。だからみんなで助け合いながら勉強できるので大学生活がとても楽しいです。

でも、編入後の生活は決して楽ではありません。編入時には単位認定がありますが、編入生は3年生の授業だけではなく、1年生と2年生の必修科目なども履修しなければなりません。そのため、一般の学生よりも忙しくなります。忙しいとき、辛いときには、自分がこれまで学んできたことに今新しい知識を積み重ねており、より多くのことを学び、二つの学校生活を体験することができていると積極的に考えるようにしています。大学院進学を考えていますが、進学についても、就職についても、大学からの適切なサポートがあるため、心配はありません。

勉強の他にも知識情報・図書館学類には楽しいことがいっぱいあります。私はさまざまな人と交流するのが好きで、大学の留学生センターに紹介されて茨城県の小学校などの交流会によく参加しています。こうした機会を通して自分の視野が広がり、知り合いも増えていきます。

みなさんも緑豊かなこのキャンパスで、充実した学生生活を送ってみませんか？

## 3年次編入のためのQ&A



### Q. 編入学した人の出身は？

A. 年度によって異なりますが、高等専門学校と短期大学出身者が多いようです。高専での学科は、情報工学科、電子情報工学科のみならず、電子制御工学科、電子工学科、電気工学科、機械工学科、環境都市工学科まで多彩です。2013年度の場合、高専7名、短大3名、大学2名、専門学校2名です(定員10名)。

### Q. 学生宿舎には入れますか？

A. ほとんどの人は最寄りの春日宿舎に入れますが、時として追越宿舎(徒歩約15分)が割り当てられることもあります。

### Q. サークルは入れますか？

A. 多くの人がサークルに入っています。

### Q. 知り合いは多くできますか？

A. 入学直後の2日間連続のオリエンテーションなど、編入生同士が出会う機会が多く、毎年仲良くやっているようです。また、1・2年次生と同じ科目を履修するため、学年を越えた知り合いも沢山できます。

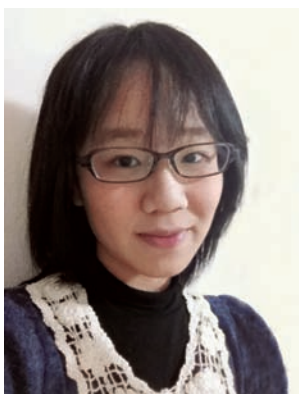
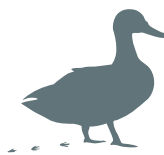
### Q. 他学類・他学群の授業は取れますか？

A. 可能です。ただし、短期間に多くの科目を取らなければならない編入生にとっては、現実にはかなり厳しいと思われます。

### Q. 文系学生はプログラミングや数学が大変？

A. 大変です。ただし、理系か文系かで決まるのではなく、個人のやる気に依存します。数学もプログラミングも専門家を育てるためではなく、どのような分野でも必要な数学的な考え方、論理的思考力を養うための科目となっています。

# 先輩から



小板橋 優 KOITABASHI Yu

知識情報・図書館学類1年

知識情報・図書館学類と聞いて、皆さんにはどのようなイメージが浮かびますか？おそらくほとんどの方は「図書館」という言葉通り、図書館について勉強できる場所だと思われるのではないのでしょうか。

しかし、実際に入学してみると、この学類はけっして図書館だけにとはとまらず、哲学に統計、こんなこともやると思われるプログラミング演習といった、実に多くのことを学ぶ学類であることが分かります。この幅広い授業内容を少しずつ理解していくことで、将来自分のやりたいことが見えてきて、将来のために必要となるスキルを身につけることができます。また、文系理系を問わないこの学類には型にはまらない多種多様の人に出会えます。私の学年ではそれぞれの得意分野を活かして数学の対策会を開催したり、レポートの情報交換をしたりと、忙しいながらもなんとか課題やテストを乗り切りました。

辛いことが終わったら、美味しいものを食べに行ったり、サークルに打ち込んだり、つくばの広大なキャンパス内を自由気ままに散歩したりと、それぞれの大学生活を楽しんでいます。私は第2外国語でロシア語を履修しているのですが、ロシア語を履修している学類メンバーとロシア料理を食べに行ったりしました。つくばには美味しい料理店やパン屋がたくさんあります。本を一冊持ってパン屋に向かって、そこでゆったりと過ごすといった優雅な休日などもできちゃいます。

大学生活では今まで自分が経験したことのないことがたくさん待っています。授業にサークル、一人暮らしにアルバイト、自分の思い描くことは自身の行動次第でいくらでも楽しくやり遂げることができます。皆さんはどんな理想の大学生活を思い浮かべますか？知識情報・図書館学類には素晴らしい環境があります。皆さんも是非この学類と一緒に学び、遊び、成長していきましょう！

伊藤 洸紀 ITO Kouki

知識情報・図書館学類1年

私がこの学類の存在を知ったのは、中学3年のときだったように思います。その当時の私は図書委員を務めており、また学年で1、2を争うほどの図書室通いをしていました。ある日の放課後、私は図書委員の仕事のひとつである本の整理をしながら、図書室の職員の方々と進路について話していたのです。司書や民間の出版業界など、本に関わるような仕事に興味を持っていた私に、ある職員の方が紹介してくださったのがこの知識情報・図書館学類でした。

無事この学類に入ることができ、大学生活をともに送る仲間たちを見渡すと、本当にさまざまな人がいます。違う価値観を有している人、バイタリティに富んだ人、とても優秀な人……。高校までに比べ、大学では私たちがどのような人たちとどう過ごし、どう変わるかという選択権は、私たちの自由意思に委ねられています。

堅い話が続きましたが、私にとっての大学は面白く、楽しいところです。授業では大変なことや頑張らなくてはならないことがあります。志望して入った学類であることもあり、興味深い授業もあります。また、共通の趣味を深く話すことができる学友も数多くいます。少しでもこの学類に興味を持っている方であれば、きっと充実した大学生活を送ることができると思います。

私が先輩になることが少し不安ではありますが、後輩である皆さんがこの学類に入ってくるのが楽しみです。それでは、皆さんがこの学類の門をたたいてくださることを期待して。



北藤 李津子 KITAFUJI Ritsuko

知識情報・図書館学類2年

私がこの学類を選んだ理由は、司書になりたかったからです。私がこの学類のことを知ったのは、小学生のときです。当時は前身の図書館情報大学でした。母親に「本読むのもパソコンいじるのも好きなら、司書になればいいじゃない」とすすめられ、それからずっと司書になりたいと思っていました。

高校時代の私は、理数教科に悩まされる典型的な文系の学生で、併願した学部は、法学部、文学部の史学科などでした。正直、「情報学群」のなかにあるこの学類に入って、本当に大丈夫だろうかという気持ちもありました。もしかすると、この文章を見ているみなさんのなかにもこんな不安を抱えている方がいるかもしれません。

そんな方に、自信をもって言いたい。大丈夫です。

それなりに覚悟はしておいた方がよいのかもしれないですが、過度に構える必要はありません。なぜなら、この学類には高校時代に典型的な文系学生だった私のような人もいれば、理系分野の方が得意な人もたくさんいるからです。苦手な分野をお互いに教えあえば、きっと乗り越えることができます。それに、春日ラーニングコモンズには、さまざまな質問に答えてくれる心強い先輩がいます。あなたが悩んでいるようなことを解決してくれるような環境がこの学類には揃っているのです。

大学の授業は抽象的で理解できないことも、正直に言うとも多いです。苦手な分野の授業となるとなおさらですが、授業を受けるといういろいろな視点を知ることができます。いろんな分野に触れてみたいけどついていけないか不安という方も、この学類でいろいろとチャレンジしてみたいかがでしょうか。

別の大学を選んでいたら、苦手な分野の授業を受ける機会はなく、その分野からの視点を知ることではできなかったでしょう。それに、この学類に来て出会った、別々の興味関心を持った友人たちのユニークな考え方に触れることもできなかったと思います。苦手な分野の勉強は確かに辛いですが、その分得られたものもたくさんあります。私は、この学類を選んで本当によかったです。



## 古澤 智裕 FURUSAWA Tomohiro

知識情報・図書館学類2年

私が初めてこの知識情報・図書館学類を知ったのは受験生の夏でした。将来の選択肢を増やそうと全国さまざまな大学、学部を調べていくなかで、この独特の輝きをもった学類に出会いました。友人には「そんな田舎行って大丈夫？」などと言われましたが、来てみると案外都会でビックリ。今のところ生活面で困ったことはほとんどありません。

さて、受験生のみなさんは、まずこの学類の名前に面食らったことと思います。「知識?」「情報?」「図書館?」。いったいこれらの言葉にどのようなつながりがあるの?

古くから図書館は人々の「知の交差点」として機能してきました。そして時代の流れとともに、その交差点は図書館からウェブ上にまで広がってきています。ですから、現在の「知識」「情報」「図書館」は密接に関連しあっているのです。詳しくはこのパンフレットの前のページのページを読んでみてください。

この学類の対象の広さも相まって、ここでは本当にさまざまなことを学びます。自分は理系だったのですが、文理関係なくほぼ全員が数学に苦しみられ、第二外国語のテスト前は心なしかげっそりします。レポート期限前日は24時間営業のファミレスで友人と徹夜もします。徹夜で友人とワイワイしながら(ときには死にそうになりながら)レポートを仕上げる、そんな夜も楽しいものです。ただ、テストにせよレポートにせよ普段からきちんと勉強している人にとっては、それほど苦にならないのではとも思います。

このように大学生活では、自分から動くことによってさまざまな友人関係を築くことができます。さらに文理融合の学類ということも影響して、ここには多種多様な人々が集まってきます。自分がそうであったように、気の合う友人もきっと見つかることと思います。

どのような経緯にせよ、この学類と出会うことができたみなさんはとてもラッキーです。なぜラッキーなのかは、この知識情報・図書館学類に来てみると分かるはずですよ。

## 千田 沙紀 SENDA Saki

知識情報・図書館学類3年

みなさんは、知識情報・図書館学類のどのようなところに興味を持ちましたか。私の場合、図書館で働きたいという思いがあり、この学類で学ぶと司書の資格をとることができるという部分に魅力を感じました。しかし、この学類で得られるものは図書館で働くためのスキルだけではなく、知識情報・図書館学類という名の通り、さまざまな知識や情報を、どのように扱っていくかを学んでいくことができます。

私がこの学類での学びを始めてからもうすぐ3年が経とうとしています。1年次、2年次で基礎科目として勉強した科目は、文系科目から理系科目まで多岐にわたっています。私は文系クラス出身なので、数学や統計、プログラミングなどの授業は大変でした。しかし同時に理系科目の面白さを感じることもあり、さまざまな角度から物事を見ることを教わりました。そして3年次が終わろうとしている今、この学類で学んだことひとつひとつが次第に組み合わさってくる楽しさを感じています。

また、大学で学べることは勉強だけではなく、一人暮らしを始める人は、自由が増える一方、自分の生活に責任をもって暮らしていかなければなりません。サークルでは、高校の部活動とは違い、自分たちが主体となって活動をつくりあげていく大変さと楽しさを味わうことができます。アルバイトやボランティア活動を通して、社会を知る機会もたくさんあるでしょう。大学生は暇だという話をしばしば耳にしますが、私は非常に忙しい大学生活を送っています。その分、毎日が新鮮で楽しく、充実しています。そして、入学当初よりぐんと成長した自分を感じています。

みなさんも、この学類でたくさんのことを学び、自分の可能性を広げてみませんか。



## 上保 秀夫 JOHO Hideo

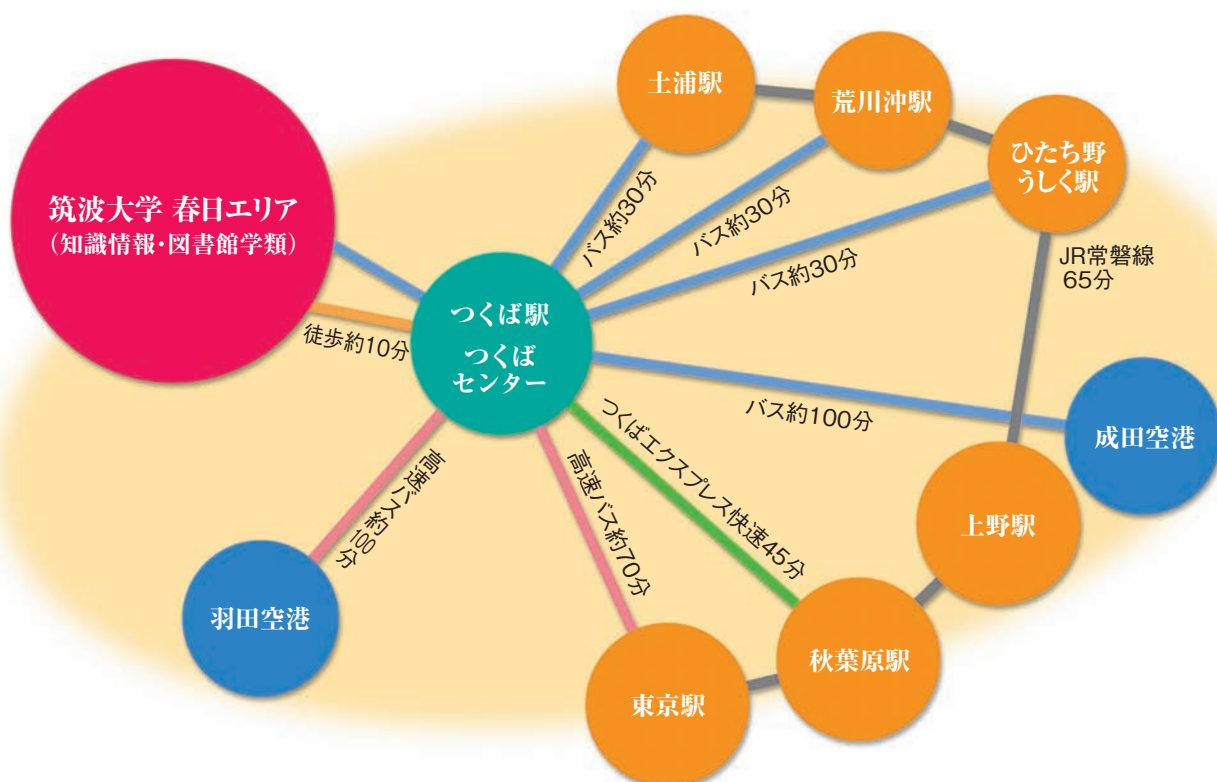
図書館情報メディア系 准教授 図書館情報大学卒業、Ph.D. (英国シェフィールド大学)

アブラハム・マズローという心理学者は「手にハンマーしかもっていなければ、何もかもクギのように見えてしまう」という言葉を残しました。ここでハンマーとは何らかの解決「方法」を意味し、クギは私たちが直面する「課題」を意味しています。つまり、ひとつの方法や視点にこだわっていても課題は解決しないよ、というメッセージです。ずいぶんあたり前のことのように聞こえますが、新しいシステムやサービスを苦勞してつくり上げると、ついついそれを使って何でも解決しようとしてしまうのが人間のようです。

知識情報・図書館学類で勉強するみなさんには、課題の発見と適切な理解、その理解に基づく解決手法やサービスの提案・開発、そしてサービスの円滑な運営、そういった能力を身につける機会が与えられます。在学中にいろいろなものにチャレンジしてみることで、卒業する頃にはハンマーもノコギリもヤスリも使いどころが分かる、そんな人材になりましょう!

<<http://joho.slis.tsukuba.ac.jp/>>

カット 保木本 智佳(図書館情報専門学群卒)



### 徒歩

「つくば駅」(A1、A2出口)または「つくばセンター」から徒歩約10分です。

### 鉄道

秋葉原駅からつくばエクスプレス 快速に乗ると45分で「つくば駅」に到着します。

JR常磐線 ひたち野うしく駅、荒川沖駅、または土浦駅で下車し、「つくばセンター」行きもしくは「筑波大学中央」行きのバスに乗ると、約30分で「つくばセンター」に到着します。

### 高速バス

東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「つくばセンター・筑波大学」行きに乗ると、約70分で「つくばセンター」に到着します。

### 車

常磐道「桜土浦IC」で降り、東大通りを約5.2km北上し、左折して北大通りに入り、2つ目の信号を左折すると「筑波大学春日エリア」に到着します。

### 飛行機

羽田空港からは高速バスで、成田空港からはバスで「つくばセンター」まで約100分です。



## お問い合わせ

〒305-8550 つくば市春日1-2  
**筑波大学 図書館情報エリア支援室**  
 TEL:029-859-1110 FAX:029-859-1162

<http://klis.tsukuba.ac.jp/>  
 E-mail [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

2013年発行



**R70**  
 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

